

会議名	第5回地域活動交付金分科会		公開
日時	平成30年6月28日(木) 午後7時30分～午後9時30分	場所	旧Aコープ 八名店
出席者	(委員) 伊田雅美、安形昇、安形武、中村温志、小林明、藤田桂 加藤久美子、井下典子、山本いづみ、井上こずえ、滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興事務所：松井所長、黒田主任		
欠席者	(委員) 恩田敏明	傍聴者	0名
配布資料	次第、地域活動交付金事業に関するアンケート集計表、地域活動交付金事業の募集要項等検討資料、地域活動交付金事業の審査基準検討資料、前年度審査の検討資料		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 議事

・ 地域活動交付金事業の募集要項等について

今年度実施した地域活動交付金事業に関するアンケート集計結果を基に協議した結果、平成31年度分から前年度審査を導入することとなり、それに伴い発表時間等を微調整することとなった。8月下旬に開催予定の地域協議会でその旨を報告し、承認を得る予定である。

<主な意見>

(委員) 事業内容にもよりますが、交付限度額が高ければより大きな事業が実施できるので、交付限度額をあげてもらえればと思います。

(委員) 限度額を上げると無駄な経費が増えてくるかもしれません。

(委員) 申請件数が減り、予算額に余裕ができてからでも良いと思います。

(委員) 審査員の人数も多ければいいというものではありませんが、極端に少なすぎても良くないと思います。今ぐらいの人数がちょうど良いと思います。

(委員) プレゼンテーションをするのが不慣れな方はただでさえ緊張しているのに、専門家に質問や意見をされたら萎縮してしまうと思います。審査はこれまでどおり地域の人で実施する方が良いと思います。

(委員) 事前にプレゼンテーションの相談を受ける機会を設けても良いかもしれません。

(委員) 今回の審査でも、勉強会でまとめた疑問点は審査会の前に申請団体へ伝え、その回答を盛り込んでプレゼンしてもらったので、当日の質問が減ってしまいました。

(事務局) 文書で事前に質問書を送付し、当日の質疑応答の時間でその回答をもらっている地域協議会もありました。

(委員) そのやり方の方が傍聴者の方にも分かりやすいかもしれません。次回はその

方法で実施してみたいと思います。

(事務局) 審査会の時期についてですが、昨年度から前年度審査導入の検討が始まり、今年度の地域協議会に引き継がれました。成果報告会と審査会を同日開催できますので、工夫次第では申請団体や地域協議会委員の負担も軽減できると思います。

(委員) 審査会と成果報告会を同日開催するとなると、時間配分もしっかり考える必要があると思います。

(委員) もし前年度審査をするのであれば、申請団体さんへできるだけ早くお知らせする必要があります。

(委員) 審査基準についてですが、「自立」については採点しなくても良いのではないのでしょうか。

(事務局) 審査基準は地域協議会で変更する事が可能です。

(委員) それでは審査項目についてはまた検討しましょう。

3 その他

・ 地域活動交付金事業の視察について

今年度も昨年度と同様、地域活動交付金事業を活用したイベント等を有志で視察することとなった。

<主な意見>

(委員) 八名では数年前から地域活動交付金事業の視察をしています。活動を検査するというよりは、現場で直に取り組みを見たり話を聞かせてもらったりして、団体さんのご苦勞を地域協議会委員もしっかり知る必要があるだろうということで始めました。是非みんなで視察に行きたいと思います。

4 閉会